

国際
セミナー

インクルージョンと ウェルビーイングのための システム変革

—政策から実践へ、学際的対話を通じて—

本セミナーでは、社会政策、インクルーシブ教育、障害学、地域福祉などの分野で活躍する国内外の研究者や実践者をお招きし、「すべての人が包み込まれ、幸せに暮らせる社会（インクルージョンとウェルビーイング）」の実現に向けて、分野を超えた対話を行います。今回は、「政策・研究・実践をつなぐ」をテーマに、障害のある人の生活を支える教育制度のあり方、地域での暮らしへの支援、そして異なる分野の連携によって広がる可能性について、さまざまな立場から考え、語り合います。是非ご参加ください。

2025年10月12日(日) 10:30～16:30 開場: 10:00

広島国際会議場（広島県広島市中区中島町1-5） & オンライン

参加無料

手話通訳・要約筆記あり

日・英同時通訳

要申込

基調講演 Keynote Speaker



ウェルビーイングの格差と
インクルージョンの社会的基盤

ウメシュ・シャルマ
ノッティンガム大学寧波校（中国）

Keynote
Speaker



障害のある人の高齢化
～研究・実践・政策への
インクルーシブなアプローチ～

タマー・ヘラー
イリノイ大学シカゴ校（アメリカ）

Keynote
Speaker

オンライン登壇



インクルーシブなウェルビーイング
のための政策システムの再構築
～構想から実践へ～

ロミーナ・ボアリーニ
経済協力開発機構（OECD）

Keynote
Speaker

話題提供 Introductory Speech



インクルーシブな教育システムの実現に向けて
～日本の政策・研究・実践の現状と展望～

清重 隆信
国立特別支援教育総合研究所（日本）

講演 Speaker



包括的なウェルビーイングの実現に向けた共創
～教育・福祉・政策の接続と未来志向の実践～

川合 紀宗
広島大学（日本）

講演者によるパネルディスカッション Panel Discussion

インクルージョンとウェルビーイングをつなぐ
～共生社会の実現に向けた対話～



対面参加・オンライン参加(Zoom)

←申し込みはこちらから

※申込締切: 10月9日(木) 正午

<https://forms.office.com/r/qcmksbwCr7>

定 員: 150名(会場)

お問合せ: d-and-i-event@hiroshima-u.ac.jp

(広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 マネジメント部門)



10:00-
10:30 受付・開場

開会挨拶

10:30- 広島大学 ダイバーシティ&
10:40 インクルージョン推進機構長
国立特別支援教育総合研究所 理事

趣旨説明 川合 紀宗

話題提供

10:45-
11:15 清重 隆信

基調講演 1

11:15-
12:00 ウメシュ・シャルマ

昼食休憩

基調講演 2

13:10-
13:55 タマー・ヘラー

講演

13:55-
14:40 川合 紀宗

休憩

基調講演 3

14:55- オンライン登壇
15:40 ロミーナ・ボアリーニ

講演者による

パネルディスカッション

15:45- 「インクルージョンと
16:20 ウェルビーイングをつなぐ
～共生社会の実現に向けた対話～」

閉会挨拶・

今後の行事のお知らせ

16:20- 広島大学 ダイバーシティ&
16:30 インクルージョン推進副機構長

話題提供 Introductory Speech



清重 隆信

国立特別支援教育総合研究所(日本)
理事

インクルーシブな教育システムの実現に向けて ～日本の政策・研究・実践の現状と展望～

清重氏は、昭和61年4月に東京工業大学に採用され、平成2年に文部省に転任。以後、初等中等教育行政の要職を歴任した。平成30年に明石市教育委員会教育長に就任、令和5年4月より国立特別支援教育総合研究所理事として、研究・研修・情報発信を一体的に推進し、インクルーシブ教育システム構築を強力に推進している。

基調講演 Keynote Speaker



ウメシュ・シャルマ

ノッティンガム大学寧波校(中国)
副学長

ウェルビーイングの格差と インクルージョンの社会的基盤

シャルマ教授は、25カ国以上の事例を基に、行動障害などの障害のある子どものインクルージョンに向けた制度の障壁について研究している。これまで200本以上の論文・著書を発表し、Australasian Journal of Special Education等の共編者を務める。著書『A Guide to Promoting a Positive Classroom Environment』では国際的な賞を受賞した。オーストラリア国家研究賞を3回受賞し、スタンフォード大・Elsevier社の世界トップ2%科学者にも選出されている。



タマー・ヘラー

イリノイ大学シカゴ校(アメリカ)
障害・人間開発研究所 所長・特別教授

障害のある人の高齢化 ～研究・実践・政策へのインクルーシブなアプローチ～

ヘラー教授は、自己主導型支援や家族支援、長期支援サービス、老いと障害の関係を中心に研究を進めている。また、発達障害先端センターを率いるとともに、家族支援リハビリ研究・研修センターを共同運営している。これまで270本以上の論文を発表し、米国大学障害センター協会やThe National Sibling Leadership Networkの創設メンバーを務めた実績を持つ。



ロミーナ・ボアリーニ

経済協力開発機構(OECD)
ウェルビーイング・包摂・持続可能性・機会均等センター(WISE) センター長

インクルーシブなウェルビーイングのための 政策システムの再構築 ～構想から実践へ～

ボアリーニ博士は、ウェルビーイング指標や包摂的成長、持続可能性、Beyond GDP指標(国内総生産では測れない豊かさ指標)の策定と普及を推進している。事務総長シニアアドバイザー時代には包摂的成長のためのプロジェクトを率い、包摂的な成長のための企業連合を立ち上げた。また、OECDに着任してまもなく「より良い暮らしイニシアチブ」にも携わった。現在、貧困・教育・行動経済学などを中心に研究している。

講演 Speaker



川合 紀宗

広島大学(日本)
ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 教授

包括的なウェルビーイングの実現に向けた共創 ～教育・福祉・政策の接続と未来志向の実践～

川合教授は、特別支援教育と言語聴覚障害学を専門とし、これまで国内外でインクルーシブ教育やコミュニケーション障害の研究を推進してきた。現在はAIとVRを活用した吃音臨床ツールの開発研究プロジェクトを主導するとともに、東南アジアを中心に実施するインクルーシブ教育専門性向上研修を企画・運営し、効果検証に取り組んでいる。

Keynote
Speaker

1

Keynote
Speaker

2

Keynote
Speaker

3